

東洋英和女学院大学大学院

2017年度前期入学試験

秋季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻  
修士課程 臨床心理学領域

専門分野

I. 心理療法と芸術と宗教の関連性について論ぜよ。特に、心理療法家と芸術家の共通点と相違点、心理療法家と宗教家の共通点と相違点を明らかにせよ。

II. 以下の用語を説明せよ。

- 1) 統合失調症
- 2) 自由連想法
- 3) ロールシャッハテスト
- 4) 分散分析
- 5) 場面緘黙症

Ⅲ. 以下の項目について、それぞれ 200 字程度で説明せよ。

- 1) 臨床動作法
- 2) ソーシャル・スキル・トレーニング
- 3) 投射(投影)
- 4) テスト・バッテリー
- 5) ミルトン・エリクソン

Ⅳ. 次の事例を読んで、問題に答えよ。

#### 事例

Aさんは、60歳代で最近職場を退職した男性である。会社に勤めていた頃は、部下の信頼も厚く、得意先からも頼りにされていた。クリニックへ同行した配偶者によれば、最近まで何ら問題が無かったという。

大学卒業後に就職してずっと営業職として仕事を続けてきた。会社の幹部は、Aさんの仕事ぶりを評価して定年後も雇用の延長を申し出て、引き留めていた。それにAさんが応えてきた。

ある日のことAさんは、得意先で顧客と打ち合わせていたときに、考えがまとまらなくなり、今何をしているのか忘れて混乱し、不安を強く感じた。その場では、何とか打合せを終えたが、その日を境に、物忘れをしてしまうのではないかと考えると、いてもたってもいられなくなり、睡眠も十分に取れなくなり、食欲の低下が増していった。実際に、体重を測定したら、体重が減少していた。

今後仕事を続けることへの自信を失い、気持ちが落ち込み、退職を決意した。Aさんは、周囲の引き留めにかかわらず強い決意を持って退職し、専門医療機関への受診をした。

問1 事例についての理解を深め支援の方針を立てやすくするためにどんな情報があるとよいか、生物・心理・社会(Bio-Psycho-Social)の視点から 800字以内で述べよ。

問2 あなたが本事例について心理学的介入(心理療法)をするとしたら、どのような理論的立場から、どのように理解し、どのような支援の方針を立てるか、400字以内で述べよ。